



6世紀頃に作られたと言うが発掘調査は行われず詳細は不明。武器の隠し場所、物見塚、鎌倉道の一里塚などの説がある。大山街道の目標になったと伝わる。

ゴール
宮崎大塚 (P49◎参照)



大型の横穴石室を内部主体とする円墳。7世紀後半の築造と推定される。築造技術や石室内の装飾方法から古代朝鮮の影響を受けたと推測されている。



昭和16年頃に陸軍東部62部隊が宮前区の中心地を溝口演習場として接収。接収地の境界線沿いに「陸軍」の標識が立てられた。

以前、女神権現(によたいごんげん)社と称した。境内に源頼朝の袖掛松と伝える「千年の松」の根の一部が残されている。

急な石段 !
急な坂 !
野川団地入口交差点
スーパライフ

鷺沼・宮崎エリア

馬絹コース 約4.2km



矢上周辺歩き

矢上川と尻手黒川道路を中心に広がる北部と南部の丘陵を歩き、馬絹地域のほぼ半分を歩くコース。北部丘陵地域にある馬絹古墳は7世紀のもので、横穴式石室は市内最大の規模。馬絹の「花づくり」の伝統を伝える温室である。

かつて大山街道の三又集落にあった。昭和16年、陸軍東部62部隊に接収された際、33軒の農家と共に、現在の宮前休日急患診療所付近に移転。明治時代中期頃から「馬絹の枝物」で有名な花作りの中心地であった。

宮前休日急患診療所 (P67◎参照)

三又の庚申様 (P48◎参照)